

# 【調査レポート】2026年6月 Anthropic 「Claude Fable 5」提供停止の背景と今後の影響

作成者: Manus AI

作成日: 2026年6月15日

## 1. 概要と事象の経緯

2026年6月13日（金曜日）、米国のAI企業Anthropicは、同社の最先端AIモデルである「Claude Fable 5」および「Claude Mythos 5」の提供を全ユーザーに対して緊急停止しました<sup>2</sup>。この措置は、米国政府（トランプ政権）から発出された輸出管理指令（Export Control Directive）に準拠するためのものであり、外国籍の個人・法人（米国内外を問わず、Anthropicの外国籍従業員も含む）へのアクセスを禁止する内容でした<sup>3</sup>。Anthropicはコンプライアンスを確保するため、結果としてすべての顧客に対して対象モデルの提供を停止せざるを得ない状況となりました<sup>1</sup>。

### 時系列まとめ

日付	出来事
2026年6月9日	Anthropicが「Claude Fable 5」および「Mythos 5」を一般公開。ベンチマークで最高水準の性能（特にソフトウェアエンジニアリング分野）を記録 <sup>4</sup> 。
2026年6月11日	Amazon（Anthropicの大口投資家）のCEOアンディ・ジャシー氏らが、Fable 5のセキュリティリスク（ジェイルブレイク手法）について米政府高官に警告を共有 <sup>5</sup> <sup>6</sup> 。
2026年6月12日 13:00 (ET)	米政府からAnthropicに対し、「国家安全保障上の脅威」を理由に90分以内にFableおよびMythosを停止するよう電話で要請 <sup>6</sup> 。
2026年6月12日 17:21 (ET)	米政府がAnthropicに正式な輸出管理指令を送付。外国籍者への提供停止を命じる <sup>1</sup> <sup>6</sup> 。
2026年6月12日 夜	Anthropicが全ユーザーを対象に「Fable 5」および「Mythos 5」へのアクセスを遮断 <sup>6</sup> 。
2026年6月13日	Anthropicが公式声明を発表。米政府の決定に異議を唱えつつも、法令遵守のため停止したことを説明 <sup>1</sup> 。

2026年6月14日

Anthropicの幹部や技術スタッフがワシントンD.C.に派遣され、政府高官（商務長官や国家サイバー長官など）と制限解除に向けた協議を開始<sup>7</sup>。

## 2. 提供停止の背景・理由

### 2.1. セキュリティリスクと「ジェイルブレイク」の懸念

米国政府が輸出管理指令を発動した直接的な理由は、Fable 5の安全ガードレールを回避する「ジェイルブレイク（脱獄）」の手法が発見されたことでした<sup>1</sup>。報道によると、Anthropicの主要投資家でもあるAmazonが、Fable 5の脆弱性に関するレポートをホワイトハウスに提出し、これが緊急措置の引き金となりました<sup>6</sup>。

政府側は、このモデルがサイバー攻撃やソフトウェアの脆弱性発見に悪用される「国家安全保障上の脅威」になると判断しました<sup>6</sup>。特にMythosクラスのモデルは、サイバーセキュリティの分野で極めて高い能力を持つとされており、悪意のある国家やハッカー集団の手に渡ることを警戒した形です<sup>2</sup>。

### 2.2. Anthropic側の反論

Anthropicは公式声明の中で、政府が指摘したジェイルブレイク手法は「限定的かつ非普遍的（narrow, non-universal）」なものであり、特定のコードベースを読み込ませてソフトウェアの欠陥を修正させるといった単純なものだと反論しています<sup>1</sup>。同社は、この程度の脆弱性発見能力はOpenAIのGPT-5.5など他の公開済みモデルでも広く利用可能であり、数億人に展開された商用モデルを回収する理由にはならないと主張しました<sup>1</sup>。

また、AnthropicはFable 5のリリース前に米国政府や英国AI安全研究所（UK AISI）などと数千時間に及ぶレッドチームテスト（脆弱性テスト）を実施しており、その安全対策は過去のどのモデルよりも強固であったと強調しています<sup>1</sup>。

### 2.3. トランプ政権との対立の歴史

今回の措置の背景には、Anthropicとトランプ政権との間にある根深い対立も影響していると指摘されています<sup>6</sup>。2026年初頭、Anthropicは自社のAIモデルを米軍の自律型兵器システムや国内監視に利用されることを拒否しました<sup>3</sup>。これを受けて、米国防総省はAnthropicを「サプライチェーンリスク」に指定し、政府機関での利用を実質的に禁止するブラックリストに掲載しました<sup>8</sup>。

Anthropicはこの指定を不服としてトランプ政権を提訴しており<sup>8</sup>、今回の輸出管理指令は、この対立の延長線上にある政治的・報復的な動きではないかとの見方もあります<sup>6</sup>。

## 3. 今後の影響と波紋

### 3.1. AI業界およびグローバルな研究開発への影響

米国政府が特定のAIモデルそのものを輸出管理の対象としたことは前例がなく、AI業界に大きな衝撃を与えました<sup>3</sup>。これまで米国は、AIを駆動する半導体チップ（Nvidia製など）の輸出を規制してきましたが、今回はソフトウェア（モデル）自体へのアクセスを禁じるというエスカレーションを見せました<sup>3</sup>。

この「デファクトのライセンス制度」とも言える強硬な措置は、他のフロンティアAI開発企業（OpenAI、Google、Metaなど）にも萎縮効果をもたらし、今後の最新モデルのリリースやグローバル展開にブレーキをかける可能性があります<sup>6</sup>。また、米国以外の研究機関や企業が最先端のAI技術から突如として切り離されるリスクが浮き彫りになり、AIを利用したグローバルな研究開発や業務効率化に多大な悪影響を及ぼすことが懸念されています<sup>2</sup>。

### 3.2. 「AI主権」の議論の再燃

米国の独断によって世界中のユーザーが最新AIにアクセスできなくなった事態を受け、各国の政策立案者の間では「AI主権（AI Sovereignty）」の重要性が再認識されています<sup>3</sup>。他国の技術に依存することの脆弱性が露呈したため、自国独自のAIモデル開発を加速させる動きが強まることが予想されます<sup>3</sup>。

ただし、専門家は「米国のみがフロンティアモデルを構築でき、その学習に必要なチップも米国がほぼ独占している現状では、他国が短期間でAI主権を確立することは非現実的である」と指摘しています<sup>3</sup>。結果として、中国のオープンソースモデルへの関心が高まる可能性も示唆されています<sup>9</sup>。

### 3.3. AnthropicのIPO（新規株式公開）への打撃

Anthropicは2026年6月1日に米国証券取引委員会（SEC）に対してIPOに向けた目論見書（S-1）を内密に提出しており、3兆ドル規模とも言われるAI関連のIPOレース（SpaceXやOpenAIと並ぶ）に参戦したばかりでした<sup>11</sup>。

しかし、主力製品であるFable 5がリリース直後に政府によって提供停止に追い込まれたことは、同社のビジネスモデルやグローバル市場での成長性に大きな疑問符を投げかけるものです<sup>9</sup>。投資家は「米国政府との対立を抱えたまま、世界中で安定してサービスを提供できるのか」という懸念を抱くため、IPOの評価額やスケジュールに深刻な悪影響を及ぼす可能性が高いと見られています<sup>9</sup>。

### 3.4. 日本への影響

日本においても、多くの企業や研究者がAnthropicの「Claude」シリーズを業務に活用しています。今回のFable 5の提供停止により、最新の高度な推論能力やコーディング支援機能を期待していた日本のユーザーは、旧モデルや他社モデルへの代替を余儀なくされます。

また、米国政府の意向一つでクラウド上のAIサービスが突然利用不可になるという「カントリーリスク」が顕在化したことは、日本の企業や政府機関にとっても大きな教訓となります。機密情報や重要インフラを扱うシステムにおいては、米国製AIへの過度な依存を見直し、国産LLMの開発・導入や、オープンソースモデルを自社環境で運用するオンプレミス型AIの検討がさらに加速するものと考えられます。

## 4. 結論

2026年6月の「Claude Fable 5」の提供停止は、単なる一企業のサービス障害にとどまらず、AIが「国家安全保障の最重要資産」として扱われる時代の幕開けを象徴する事件です。米国政府による強力な輸出管理と、それに翻弄されるAI企業という構図は、今後のAI開発競争や国際政治において新たな火種となることは間違いありません。Anthropicと米国政府の協議の行方、そして他国や他企業の対応が注目されます。

## 参考文献

- [1] Anthropic, "Statement on the US government directive to suspend access to Fable 5 and Mythos 5", June 12, 2026. (<https://www.anthropic.com/news/fable-mythos-access>)
- [2] Al Jazeera, "US asks Anthropic to block global access to top AI models: Why it matters", June 14, 2026. (<https://www.aljazeera.com/news/2026/6/14/us-asks-anthropic-to-block-global-access-to-top-ai-models-why-it-matters>)
- [3] TIME, "Anthropic Pulls Its Most Powerful AI Models After U.S. Bars Foreign Access", June 13, 2026. (<https://time.com/article/2026/06/13/anthropic-fable-mythos-ban-US-security/>)
- [4] Anthropic, "Claude Fable 5 and Claude Mythos 5", June 10, 2026. (<https://www.anthropic.com/news/claude-fable-5-mythos-5>)
- [5] Fortune, "A warning from Amazon led the White House to shut down Anthropic's Mythos model", June 14, 2026.
- [6] Axios, "How Amazon and the White House ended Anthropic's Fable", June 13, 2026. (<https://www.axios.com/2026/06/13/anthropic-amazon-white-house>)
- [7] The Wall Street Journal, "Anthropic Dispatches Staff to D.C., Racing to Resolve AI Export Restrictions", June 14, 2026. (<https://www.wsj.com/tech/ai/anthropic-dispatches-staff-to-d-c-racing-to-resolve-ai-export-restrictions-71303d42>)
- [8] WIRED, "Anthropic Says It's Taking Claude Fable 5 Offline to Comply With US Government Order", June 12, 2026. (<https://www.wired.com/story/anthropic-says-us-government-ordered-it-to-shut-down-mythos-models/>)
- [9] Forbes, "Anthropic Pulls Fable, Mythos After Government Issues Emergency Export Control Order", June 13, 2026. (<https://www.forbes.com/sites/joetoscano1/2026/06/13/anthropic-pulls-fable-mythos-after-government-issues-emergency-export-control-order/>)

[10] CNBC, "Anthropic confidentially files IPO prospectus with SEC, landmark deal", June 1, 2026.

[11] Yahoo Finance, "Anthropic Files Confidential S-1: Joins \$3 Trillion AI IPO Race", June 1, 2026.